

## 令和8年度 看護学科3年課程 公募推薦・社会人入学試験

### 小論文テーマ

### 小論文課題

信濃毎日新聞2025年8月29日（金）の一面に「山ろく清談」というコーナーがありました。そこで、絵本作家の五味太郎さんがこんなことを述べています。

「分からない」ってのが大事だよな。世界は謎だらけで、分からないことが楽しいのさ。カリキュラムを立ててテストして、○×を付けるっていう初等教育をいつまでやっているんだ、と思う。先生は教室で結論を言うけど、どこまでいっても分からないんだっていうのが本当の結論。

「多様性」とか「個性をはぐくむ」とか、わざわざ言わなくちゃいけない時代になった。それは多様性や個性がなくなったからだよね。俺が通った学校なんて、金持ちもいたし、食うに困るような人もいた。小児麻痺の人もいたな。雨が降ると、誰かがそいつのところを傘を持って迎えに行った。今よりよっぽど多様だった。カリキュラムにはめておきながら「個性をはぐくむ」なんて言うのも、本当に言葉面（づら）だけだよな。

この10年ほどで、「コンプライアンス（法令順守）」なんて綴りも書けない言葉が出てきた。みんなが人の顔色をうかがいながら発言するようになった。しばらく本音を隠していると、本当は何が言いたかったか分からなくなってくる。

上記の文章を読んで、

- ①五味太郎さんの考え方に対して、自分はどう思うか・考えるかを書きなさい。
- ②言葉面・表面的・上辺でなく、本音を言い合える関係性、組織を創るためにどのようにしてゆけばよいか、自身の考える方策や生き方を書きなさい。

以上二点について800字以内で述べなさい。

（400字ずつ書けということではない。）

\*五味太郎 東京生まれ。80歳。手がけた絵本には「みんなうんち」「きんぎょがにげた」「たべたのだあれ」等400冊以上。「大人問題」「じょうぶな頭とかしこい体になるために」などの著作もある。  
南佐久郡南牧村の別荘にて取材